



No.110 2010. 6

発行 真言宗豊山派
北田山宝泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真琴

大師堂 地蔵堂 納骨堂 落慶法要

梅雨時は暮らしになにかと不便を感じると思いますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて旧本堂改修工事ですが2月下旬着工後、順調に工事が進行しこの度竣工に至りました。つきましては有縁の光蔵寺様、多聞院様に御助法をお願いし落慶法要を厳修致します。

180年の星霜を重ねた旧本堂は新四国奥多摩八十八カ所霊場五十番札所として、さらに大日如来をお祀りした納骨堂を併せ持つ大師堂としてよみがえることとなります。お地蔵様も一新したお堂でご安心かと、今後とも長く重要な寶泉寺のお堂として護持につとめていく所存です。

法要にはぜひ皆様のご参詣をお待ち申し上げます。さらに竣工の様を十分にご覧頂ければとお知らせ致します。

平成22年7月19日（月曜日、祝日、海の日）

午後1時半 住職法話 「四国八十八カ所について」

午後2時 法要開始

*全檀徒の皆様に記念品をご用意しております。

なお納骨堂の受け入れは準備整い次第となりますがもう少し先の予定です。

ところで四国八十八カ所、小僧の初遍路は24才の5月、東京駅普通夜行列車からフェリーで徳島港へ、ここから歩き始めて最後は高野山、通算すると約50日でした。道中の出来事、考えていたことなど体験談を含めとお話したいと、今思い巡らせているところです。

お寺の行事に思うこと

4月には花まつり、5月には大般若転読会と、ここ最近大きな行事が続きました。この場をお借りして少しご報告を。

大般若会は、10人以上のお坊さんが大きな声でお経をお唱えすることで家内安全や商売繁盛などを祈願する行事です。宝泉寺では現在の本堂落慶を記念して12年前から毎年5月の最終土曜日に行われています。8月のお施餓鬼に並ぶ大きな催しですが、さすが12回目ということもあり、準備する側はもちろん、参列される皆さんも良く勝手がおわかりでいて、多くの協力のもと今年も滞りなく進めることができました。

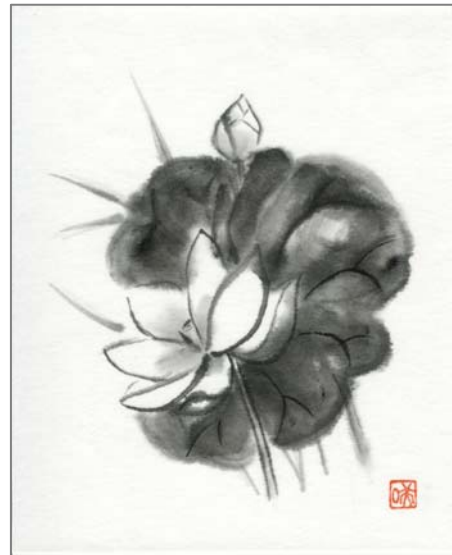
もう一つの行事である花まつりは昨年からスタートした新しい試みです。花まつりがどんなものなのか。何度かこの紙面上でも話題にしてきましたが念のためもう一度。

「花まつり」とは仏教をお開きになったお釈迦様のお誕生会です。具体的には花御堂(はなみどう)と呼ばれる小さなお堂を花で飾り、お堂の中央にはお釈迦様の稚児像(生まれたときのお姿)を据え、そのお像に甘茶をそそぐという流れでご供養をします。

4月8日がお誕生日当日になるのですが、1日だけのお祝いですとちょっと寂しいかなと思い、宝泉寺では8日から11日までの4日間にわたり本堂を開放して、皆さんに甘茶をそそいでもらったり、甘茶や抹茶などを召し上がったりしていただきました。

さらに今年は、最終日にお釈迦様を讃える法要を営み、お釈迦様にまつわご法話も致しました。特に積極的な宣伝はしなかったものの、法要の時間には15人ほどの方がお見えになり、暖かでゆるやかな空気の中、お釈迦様について各々思いを馳せることができたのではないかと思います。

4日間の期間中、約50人ほどのお客さんがいらっしやったのですが、今まで特

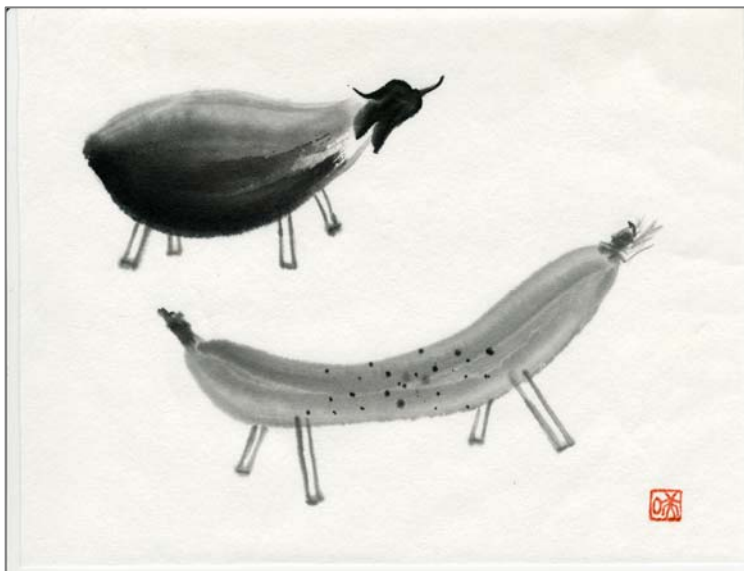


にご縁のなかった方が多く見えたのがとても印象的でした。この花まつりという行事はお釈迦様の遺徳を偲ぶことが本義ですが、宝泉寺ではもう一つ、お寺の開放という意味合いを込めています。普段接することの少ない地域の方々にお寺を、ひいては仏教を身近に感じてもらいたい。そう考えての行事でもあるのです。

お寺の活動のあり方について日々思うことがあります。お寺の役割というとお葬式やご法事、またはお盆のようにご先祖様の供養や、大般若会のように皆の幸せを祈願するものというイメージが強いと思うのですが、花まつりのように宗教的な色合いそこまで強く押し出さないことで、お寺は地域の人々をつなぐ役目を負うことができるのではないのでしょうか。

実は今回り光に載っている2枚の挿絵は宮崎咲さんというイラストレーターの方に書いていただいたものです。宮崎さんは所沢市にお住まいで、花まつりの報せを見てお寺に遊びに来てくれた方の一人です。時代物とお寺が大好きだという宮島女史。墨絵のタッチを得意とし、その画風は柔らかく暖かさに溢れています。これから宝泉寺発行のお知らせにちよくちよく挿絵を描いていただく予定です。こんな出会いがこれからも多く訪れたらどんなに素晴らしいことでしょうか。

もちろん、大般若会といった行事でもお檀家さんに限らずたくさんの方に参加して欲しいと思っています。お寺が皆さんの身近な存在であるように今後もいろいろと行動して参りたいと考えています。(了)



(宮島さんのホームページ <http://kazeno-kakehashi.com/> 是非アクセスを)。

近づくお盆

皆様にはもう少し先のことかと思いますが、私たちは準備も含めてすでに心はお盆体制に入っています。特に今年は大師堂落慶のこともあり、るり光を早めて発行致します。「盆供」「施餓鬼」については例年通り7月の20日過ぎに皆様へお届けする予定でいますのでもう少しお待ち下さい。

墓地内ゴミ処理についてお願い

お盆前は墓地内植木の刈り込みなどもあり大量のゴミがでますので、例年のように特別コーナーを庫裏裏玄関近くに設けます。そばに軽トラックをとめておきますので荷台へ直接でも結構です。ゴミは山林に持ち込まないようお願い致します。そして16日、送り盆の際の竹などを含む盆棚のお供物類は可燃、危険物などを分別して特別コーナーへお持ち下さい。

盆供、お塔婆の受付

期 間 7月31日(土)より8月9日(月)まで

◆極力この期間内にお問い合わせ致します。

今年の春は低温続きのせいかわ動植物の活動も遅れたようで、今よりやくメダカの産卵、スズムシの孵化が盛ん。しかし蓮の花はいつもより早くツボミを見せ始めまもなく美しい花が楽しめます。それとヤマモモ（庫裏、裏玄関脇）、例年るり光をお届けする頃は終わっているのですが色づき始めました。るり光がお手元につく頃には最盛期かと、お参りの際にどうぞお試し下さい。甘酸っぱい懐かしい味がするはず

編 集 後 記

▲南アフリカ、サッカーワールドカップ、日本チームは開会前の予想をくつがえす大活躍、デンマーク戦は文句のない勝利で気分すっきり、しかし寝不足がちとこたえました。さあ今夜は決勝トーナメント初戦。

▲大師堂、今後の寺院運営にどう生かそうか、あれこれ浮かんでは消えの繰り返し。アイデアは十分な検討の上生かしていきたいと考えている。

▲初孫男児誕生、この2週間、ハラハラドキドキ

子育てに参加？している。さてあの時はどうだったかと古いアルバムなどを出しては当時を懐かしんでいる。そういえばわずかな期間の市役所勤め時代の年金が出ることになった。額は雀の涙以下だが、30年以上も前のことを同じように懐かしんでいる。

▲大相撲が野球賭博で大揺れ、国技が泣いているようだ。結末を注視。相撲社会で純粋培養されたような力士、多く純粋培養にはどこかにひ弱なところが潜んでいる。

Jun. 29. 2010(琴)